



Pachinko Chain Store Association

一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会（PCSA）は、パチスロ遊技機及びパチスロ業界の現状に関連し、下記のとおり声明いたします。

記

PCSAは、パチンコ・パチスロを名実ともに国民大衆娯楽としていくために、遊べる遊技機の普及や低貸玉営業の推進をはじめとする諸々の施策を積極的に推進してきました。

ところで、最近、パチスロ遊技機およびパチスロ業界の現状に関連し、「衰退の一途を辿っているパチスロ業界の現状は、2004年（平成16年）7月に施行された風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則の改正に端を発しており、この規則改正に起因したパチスロ遊技機のゲーム性の低下によるファン離れにある。」とする論調が目立っています。さらに、業界誌等の報道によりますと、遊技業界の一部からは、「パチスロ業界の窮状を救うためには、規則の再改正や運用の見直しを行い、高射幸性の遊技機の開発と流通を認めることが必要である。」との主張がなされているとのことです。

もちろん、パチンコ・パチスロホールに来店されるお客様のニーズは多種多様であり、高射幸性のパチスロ遊技機での遊技を望まれる方々もいらっしゃるごことから、その方々のパチスロ離れを一部で生じさせている事実があります。

しかし、高射幸性の遊技機を中心とした営業の展開は、一時的な意味での利益の確保に貢献するところはあるとしても、中長期的な観点からは、娯楽としてのパチンコ・パチスロを強く望んでいる国民大衆の大多数の支持を得られず、さらなる客離れ現象を引き起こしてしまうことは必至であります。

むしろ、パチスロ業界にいま緊急に求められていることは、遊技機製造業者ごとに異なっている基礎的な部品を共通化することや、風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律に規定する遊技機の型式試験に係る指定試験機関（財団法人保安電子通信技術協会）の手続を簡素化すること等を通して、パチスロ遊技機の低価格化を図り、遊技業界の高コスト体質の抜本的な改善に寄与することではないでしょうか。

いずれにしましても、昨今の経済環境の中において、遊技業界の目指すべき道は、PCSAの調査によっても営業店舗数比率で80%近くに達し、設置遊技機台数比率でも30%を優に超える低貸玉営業をさらに推し進め、国民大衆の大多数が望んでいる、時間消費型娯楽へのパチンコ・パチスロの一大転換を着実に図っていくことにこそあると考えています。パチスロ遊技機製造会社およびパチスロ遊技機販売会社におかれましても、遊べる遊技機をはじめとする低射幸性の遊技機の開発または低価格での遊技機の販売をさらに継続して促進されるよう、切に望むものであります。

以上

平成22年2月26日

一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会
代表理事 谷口 晶貴

